

# 環境活動レポート

(対象期間:2018年4月1日～2019年3月31日)

発行日:2019年5月1日

長野県諏訪郡富士見町富士見248-347

株式会社サンシンワークス

## はじめに

当社は2016年11月1日にEco-CRIPに取り組み、環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは当社の事業年度に合わせ、4月1日から3月31日までをひとつの区切りとしています。2018年度より乙事事業所も範囲に含めた。また2019年4月1日に関連会社3社を統合し、株式会社サンシンワークスと社名変更をした。当レポートは旧三信運輸(株)の2018年4月から2019年3月までの活動をレポートしたものである。

## 1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

### ◆ 事業所名・所在地

事業所名	：株式会社サンシンワークス（旧 三信運輸(株)）		
所在地	：〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町富士見248-347		
法人設立年月日	：昭和39年12月14日		
資本金	：1000万円		
長野県産業廃棄物収集運搬業許可年月日	：昭和63年12月15日	新規許可	
	：平成28年12月15日	更新許可	
山梨県産業廃棄物収集運搬業許可年月日	：平成17年12月6日	新規許可	
	：平成28年2月1日	更新許可	
埼玉県産業廃棄物収集運搬業許可年月日	：平成21年7月29日	新規許可	
	：平成26年9月26日	更新許可	
長野県産業廃棄物処分業許可年月日	：平成13年3月16日	新規許可	
	：平成28年3月16日	更新許可	
収集運搬量(年間)	一般可燃物	：2291t	
	事業系可燃物	：980t	
	一般不燃物	：503t	
	産業廃棄物	：167t	

### ◆ プラント及び事業所

★乙事事業所（廃プラスチック破碎・圧縮梱包プラント）

〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町乙事5272-1

★花場プラント（石灰石鉱山）【EA21対象範囲外】

〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町乙事5272-1

（2020年度開始に向けて準備中）

### ◆ 環境保全関係の責任者・担当者・連絡先

代表者及び環境管理責任者： 代表取締役 和田賢司

事務局： 経理部 波間栄子

TEL： 0266-62-5500

FAX： 0266-62-6207

E-mail： kenji-wada@sanshinu.co.jp

### ◆ 事業活動の内容

一般貨物運送事業、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬

## ◆ 事業規模

活動規模	単位	2016年	2017年	2018年
売上高	百万円	261	267	265
従業員	人	26	26	26
床面積	m <sup>2</sup>	1648.56	1648.56	1648.56
車両台数	台	32	32	32

**産業廃棄物収集運搬業** 長野県 2012021186 有効年月日 平成 33 年 12 月 14 日  
 山梨県 1900021186 有効年月日 平成 32 年 12 月 5 日  
 埼玉県 0110302186 有効年月日 平成 31 年 7 月 28 日

## 事業範囲

廃油・廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず  
 汚泥・廃酸・廃アルカリ・紙くず・木くず・繊維くず・動物性残さ・がれき類

運搬車両の種類 ダンプ・脱着装置付きコンテナ専用車・キャブオーバ・バン・塵芥車  
 車両の台数 9 台

**産業廃棄物処分業** 長野県 2022021186 有効年月日 平成 33 年 3 月 15 日

溶融固化する産業廃棄物

廃プラスチック(発砲スチロールに限る)

破碎、または圧縮梱包する産業廃棄物

廃プラスチック類

処理能力

溶融固化 0.16t/日 破碎施設 1.6t/日 712kg/日 圧縮梱包施設 2.4t/日

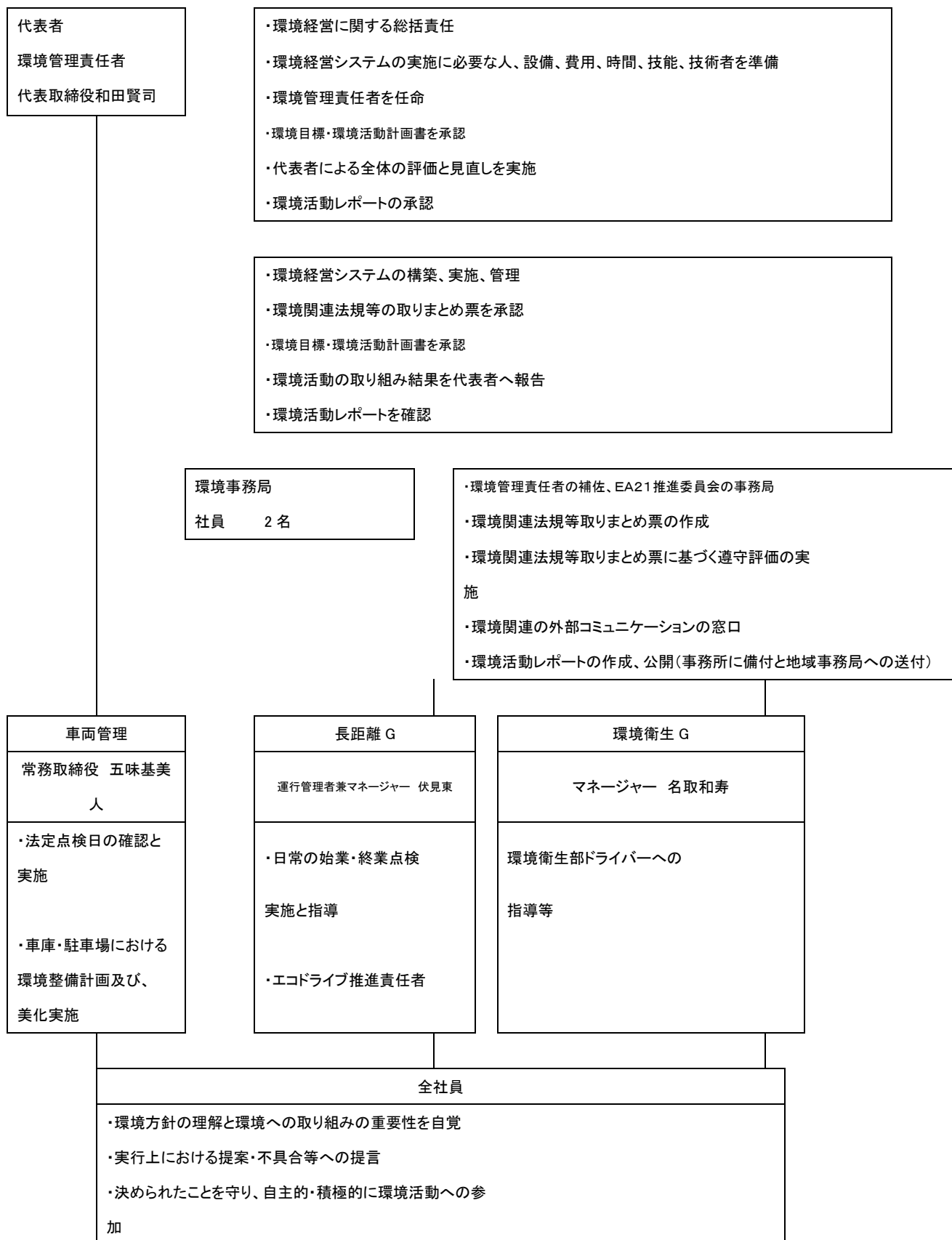
## ◆ 対象範囲(認証・登録範囲)

一般貨物運送事業、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬

◆ 環境活動実施体制

株式会社サンシンワークスEA21実施体制図  
及び役割・責任・権限表

2019/4/1:制定



## 2. 環境方針

# 環境方針

### < 基本理念 >

株式会社サンシンワークスは、企業理念に基づき地域社会および環境への関連を考慮し、企業活動の実践・物流サービスの提供を通じて社会に貢献していきます。

環境の保全と共生を目指した事業活動を行うために環境経営システムを構築します。

### < 環境方針 >

1. 物流サービスの提供による環境影響を低減します。
2. お客様にエコ物流を働きかけ、環境汚染の予防を推進します。
3. 全員参加により、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
4. 当社の活動による環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - ① 環境関連法規制、条例、協定及び、その他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
  - ② エコドライブの実践及び、消費電力削減によりCO<sub>2</sub>排出防止に努め地球温暖化、大気汚染防止を行います。
  - ③ 廃棄物の適正処理、あらゆる資源のリサイクル活動を推進します。
  - ④ 積極的且つ効率的な清掃活動を行うと共に排水量の削減を行います。
  - ⑤ グリーン調達・低公害車輛の導入を行います。
  - ⑥ 環境教育、啓蒙活動を通じて従業員全てに本方針を周知し、全員の意識向上を図ります。
  - ⑦ 物流サービスにおける環境配慮の推進にお客様と共に努めます。

全社員に対してこの環境方針の周知を図るとともに、本方針は広く社外に公表します。

制定日：2019年4月1日

株式会社サンシンワークス

代表取締役 和田賢司

## 3. 環境負荷の現状

環境への負荷		単位	2016年	2017年	2018年	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	7002574	571297.3	707689.8	
	( )	Kg-CO <sub>2</sub>				
	( )	kg-CO <sub>2</sub>				
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(可燃ゴミ)	t	2.9	2.5	2.8
		(段ボール)	t	1.3	1.2	1.6
		最終処分量	t			
	産業廃棄物	(木くず)	t	0	0	0
		(汚泥)	t	8	7.7	7.2
		最終処分量	t			
③-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>				
	下水道	m <sup>3</sup>	398	380	453	
③-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>	398	380	453	
	工業用水	m <sup>3</sup>				
	地下水	m <sup>3</sup>				
④ 化学物質使用量		kg			0	
		kg				
		kg				
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	401548	259315	260190.27	
	化石燃料	MJ	9512844	8267127.9	10059485.9	
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
⑥ 物質使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				
⑦ サイト内で循環的利用を 行っている物質等	利用された物質等	t				
	水の利用量	m <sup>3</sup>				
⑧ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等	t				
	環境負荷低減に資する製品等	t				
	容器包装使用量	t				

※購入電力の排出係数は、平成20年度の中部電力株式会社・実排出係数(0.497kg-Co<sub>2</sub>/kWh)を使用

## 4. 環境目標及び環境活動計画とその達成状況

## ◆ 環境目標

2015 年度を基準年度として、次の環境目標を設定しました。

取組項目	単位	基準値	環境目標		
		2015 年度 (2015.4～3)	2016 年度	2017 年度	2018 年度
CO2 排出量 (削減率)	Kg-CO <sub>2</sub>	7393199	702353 5%削減	6875675 7%削減	6727811 9%削減
軽油削減 (削減率)	ℓ	265741	252454 5%削減	247139 7%削減	241824 9%削減
汚泥削減 (削減率)	ℓ	8.5	8.1 5%削減	7.9 7%削減	7.7 9%削減
排水量削減 (削減率)	ℓ	373	354 5%削減	335 10%削減	317 15%削減
グリーン製品購入		不明	5 品目追加	5 品目追加	5 品目追加
省エネ運送の提案		不明	10 件/年	15 件/年	15 件/年
職場の整理整頓清掃の推進		なし	オイル交換場所	屋外リサイクル 品置き場	事務所

## ◆ 環境活動計画とその取組結果の評価

取組項目・活動計画	取組結果・評価
<b>&lt;CO2 削減&gt;</b> ・タコメーターを確認し、スピードオーバーの人を指導する ・車両別燃費票を作成し、指導を行う ・波状運転防止の指導をする	・適時運転手に対して指導を行い、軽油削減に努めた ・波状運転は軽油使用量の増大につながるため、定速運転の指導を行った
<b>&lt;事故防止&gt;</b> ・安全衛生会議の実施 ・KYT 及びあおり運転防止対策研修	・安全衛生会議を開き、構内の危険個所の安全等を確認した ・あおり運転防止の意識が向上し、KYT を行ったことで事故防止につながった
<b>&lt;汚泥削減&gt;</b> ・残渣物は洗い流さないようにし、除去する	・適切に指導を行い、残さ物が減少した

<p>&lt;排水量削減&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員に対して洗車ルール徹底をする</li> <li>・洗車ルールについての社内研修会を行う</li> <li>・雨水利用ができないか検討会を開く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗車のルールを再確認した。</li> <li>・ルール徹底のための研修を行った</li> <li>・社内及び業者と健闘したが実施には至らなかった。</li> </ul>
<p>&lt;グリーン製品購入&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象リスト作成(ASKULのグリーン商品リストがエコ対応)</li> <li>・5品目追加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラベルシール、書類入れ、エコボックス等を購入した。</li> </ul>
<p>&lt;省エネ運送の提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ安全運転研修参加する</li> <li>・実行し記録・発表し、結果検証を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ安全運転研修に参加し、実践的な訓練を行った</li> </ul>
<p>&lt;オイル交換場所の美化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不用品の除去</li> <li>・置場定位置化</li> <li>・5S活動強化月間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要品を除去し、倉庫の整理を行った。</li> <li>・5S活動強化月間を実施し、5S活動の推進を行った</li> </ul>
<p>&lt;その他業務改善&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花場プラントと本社をテレビ会議システムを導入し、会社間の一体化を図った。また、電話代を削減することにもつながった。</li> </ul>

<総合評価>

・事故防止こそがエコに繋がると意識をし、安全運転に心がけた。また、燃費の悪い走行をしている運転手に対して、引き続き指導を行った。その結果、ロスが減り、軽油削減にもつながった。

社内美化にも気を付け、5S活動も積極的に推進した。その結果整理整頓をすることが日常化し、良い効果もたらされた。今後も続けていきたい。



## ◆ 環境目標の達成状況(2018年4月～2019年3月)

取組項目	単位	基準値	目標	実績	目標達成率	評価
CO2排出量 (削減量)	Kg-CO <sub>2</sub>	739319	672781	713619.0	-3.4%	未達
軽油削減 (削減量)	ℓ	265741	241824	260190	-2%	未達
事故防止	件	不明	0	2		未達
汚泥削減 (削減率)	ℓ	8.5	7.7	7.2	-15.2%	達成
排水量削減 (削減率)	ℓ	373	317	453	+21%	未達
グリーン製品購入		不明	5品目追加	ラベルシール、 書類入れ、 エコボックス 追加		達成
省エネ運送の提案		不明	4件/1月まで	2件/年		達成
職場の整理整頓清掃の推進		なし	屋外のリサイクル 品置場	整理できた		達成

## ＜達成状況の反省と展開＞

・CO<sub>2</sub>の排出は目標には達成しなかったが、乙事事業所分が含まれているので全体としては低下傾向にあるといえる。

・軽油削減も目標には達しなかった。乙事事業所からでる車両分を追加したこともあるが、こちらも全体としては低下傾向にあるので、引き続きエコドライブの推進や安全運転に心がけていく。

・排水量は目標に達しなかった。社員が車の清掃に対する意識が上がったこと、乙事事業所での水洗い処理が数字に加算されたことが理由である。今後も排水ルールや洗車のルールの徹底を行い、排水量削減に努める。

## ＜次年度の取組内容＞

＜CO<sub>2</sub>削減＞

- ・スピードオーバー車への指導

## ＜軽油削減＞

- ・エコドライブの推進
- ・アイドリングストップ活動の推進

## ＜事故防止＞

- ・事故防止社内教育
- ・KYT研修

## ＜汚泥削減＞

- ・残渣物を流さない為のルールを策定する

## ＜排水量削減＞

- ・洗車ルールの遵守及び改定

- ・洗車ルールを遵守の為の教育
- ・洗車講習会を行い、無駄に水を使用しないようにする。
- <業務内容の改善>
- 作業効率アップに向けた施策の提案
- <グリーン製品購入>
- ・5品目を追加する
- <職場の整理整頓清掃の推進>
- ・各所での5S活動推進

## 5. 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無

当社の事業活動に関連する主な環境関連法規等は下記のとおりです。

2019年3月31日、遵守状況の確認を行ったところ、結果は下記の通りであり違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟は過去3年間ありません。

適用される法規制等	法規制の内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理	遵守
消防法 諏訪広域火災予防条例	少量危険物の届出 貯蔵場所に法廷の表示板を設置 消火器の設置	遵守
下水道法	不適切な下水を排出しない	遵守

## 6. 代表者による全体の評価と見直し

2019年3月20日、代表者による取組の見直しを行い次の結果が得られました。

インプット(審議事項)	アウトプット(見直し結果:社長指示)
(1)外部監査の結果 (環境管理責任者) ・非該当	—
(2)最近の是正措置 ・KYT研修及びあおり運転防止研修を行った	・あおり運転と勘違いされないような運転をする。 ・KYTを通じて事故防止につながった。
(3)地域住民などの利害関係者からの苦情に是正・ 予防処置 (環境管理責任者) なし	
(4)法規制、遵守評価、社会状況の変化 (環境管理責任者)	
(5)目標達成状況 CO2削減 3.4%削減 軽油削減 2%削減 事故防止 未達成 排水量削減 未達成 グリーン製品購入 達成 省エネ運送の提案 達成 職場の整理整頓清掃の推進 達成 オイル交換場所の整理 達成	事故は2件であったが、例年よりは少ない結果になった。事故ゼロを目指して今後もKYTを通じて事故防止に取り組む。
(6)負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果 (担当者) ・軽油が Co2 排出の95%である	・個人別燃費調査を今後も実施する (年2回)
(7)改善の提案 ・来年の5Sは事務所内の整理整頓にしてはどうか	・事務所の整理整頓を行う。